

第 140 回お試しアカウント付き並列プログラミング講習会 「科学技術計算の効率化入門」実施報告

伊田 明弘

スーパーコンピューティングチーム

2020年10月7日(水)、第140回お試しアカウント付き並列プログラミング講習会「科学技術計算の効率化入門」が、オンラインにて開催されました。

本講習会は、東京大学内および学外における当センターのスーパーコンピュータの利用を考えているユーザに加え、社会貢献の一環として、高性能計算や並列処理の技術習得を目的にした企業に所属する研究者、技術者の方が参加可能になっております。

受講者は、大学院学生(修士)：10名、大学院学生(博士)：4名、助教：1名、講師1名、准教授：1名、教授1名、研究機関研究員3名、企業の方：4名の参加者合計：25名でした。

1カ月有効なお試しアカウントが与えられ、Oakbridge-CX スーパーコンピュータシステムの利用方法、科学技術計算ライブラリ利用に関する演習、シミュレーションの効率化に関する講習が、終日の日程で行われました。

当日のプログラムを、以下に記します。

10月7日(水)

13:00-13:15	システム紹介
13:15-14:15	スパコンと線形計算ライブラリ(BLAS, LAPACK)
14:15-14:30	休憩&質問
14:30-15:45	Xcrypt を用いたジョブ並列処理
15:45-16:30	実習&質問

講習会終了後にアンケートを実施しました。参加者の内17名から、講習会に関するアンケートをご提出いただきました。表1は質問項目と回答(5段階評価)の人数分布です。今回は、プログラミング経験が無い方から46年の経験豊富な方まで、様々な方々が参加されました。並列化プログラミングについては、17名中11名の方が経験ありと回答されており、その内9名は5年以下と回答されています。普段使用するプログラミング言語を訪ねた質問には、Basic, Fortran, C, C++, C#, Python, Java, R と様々な言語が回答として得られました。難易度については、適切という回答が大半を占めました。全体的な満足度としては、概ね高評価でした(17名中9人が4以上、平均値は3.76)。

以下のご意見を頂きました。

■Zoomによるオンライン講習会で良かったこと

- ・移動がない
- ・東京から遠方にいる者でも気軽に参加できる
- ・会場に行かなくてよい分、時間を節約できるため空いている時間を利用して気軽に参加することができる
- ・チャットで気軽に質問ができる
- ・we can just join the course at home and no need to spend time in transportation.

■Zoomによるオンライン講習会で悪かったこと

- ・講師や受講者の顔が見えない
- ・似たような作業をしている他の組織の方々と知り合いになることができない
- ・It is a little bit difficult to solve problems when you face it.

■講習会全般に対する意見・要望など

- ・hoping sensei can give more examples to let students try and ask students that if they can keep with the class or not and slightly slow down the speed of the class.
- ・前半は比較的、易しかったのですが、後半の Xcrypt は当方にとってはスピードが速く、ついていけませんでした。そのため、後でじっくり読んで実習をすることにします。

表1 アンケート集計結果

	評点	1	2	3	4	5
(a) 講習会時間	短い⇔長い		1	16		
(b) 講習会講義内容 (プレゼン)	簡単⇔難		3	12	2	
(c) 配布資料内容	簡単⇔難		4	11	2	
(d) サンプルプログラム内容	簡単⇔難		1	14	2	
(e) 満足度 (平均 4.0)	不満⇔満足	1		7	3	6

以上